

2019年度「深田研究助成」

研究・調査助成申請書

年 月 日

公益財団法人深田地質研究所
理事長 松岡 俊文 殿

貴研究所の研究・調査助成を受けたく、別紙のとおり申請いたします。

課題名 _____

ふりがな
申請者名

_____ ㊞

所属機関名 _____

所属部署 _____

〒

住 所 _____

TEL :

FAX :

E-mail :

※「深田研究助成」申請書作成上の注意

・当研究所からの連絡は、所属機関宛に行います。所属機関名の下住所欄には、教室番号、教室名もしくは研究室名等も明記して下さい。

申請者略歴

氏 名		生年月日	年 月 日 (満 歳)
学 歴	<p style="color: red;">(これまでの学歴を記載して下さい。修士課程終了予定の方は次の進路を明記して下さい。)</p> <p style="text-align: center;">年 月 大学 学部 学科卒</p> <p style="text-align: center;">年 月 大学大学院修士課程 (研究科) 入学 (研究指導者)</p> <p style="text-align: center;">年 月 同上修士課程修了</p> <p style="text-align: center;">年 月 大学大学院博士後期課程 (研究科) 入学 (研究指導者)</p> <p style="text-align: center;">年 月 同上博士後期課程修了</p> <p style="text-align: center;">年 月 博士の学位取得 (取得機関)</p>		
職 歴	<p>(これまでの職歴あるいは就職予定を記載して下さい。)</p> <p style="text-align: center;">年 月</p>		

6. 方法と成果 (研究の①具体的方法, ②期待される成果を記載して下さい.)

(足りない場合は, 1 ページ追加可)

7. これまでの論文・学会発表リスト（この申請に関するものを主体として、主要なもの10件以内）

著者名，発表年（西暦），論文名，学協会誌名，巻（号），最初と最後の頁

（足りない場合は，1ページ追加可）

8. その他参考となる事項 (申請課題設定までの経過と関連するご自身の研究について簡潔に記載して下さい.)

(足りない場合は, 1 ページ追加可)

9. この課題に関連し他機関から得ている助成あるいは応募中のものがある場合はそれを記載してください。

(足りない場合は、1ページ追加可)

10. 助成金申請額

円

助成金使用内訳書

課題名				申請者氏名	
消耗品費		旅 費		その他	
品 名	金 額	事 項	金 額	事 項	金 額
計		計		計	
合計			円		
<small>※旅費内訳は、目的・目的地・日数などできるだけ具体的に記載してください。</small>					

年 月 日

推 薦 書

所属： _____ 氏名： _____

課題名： _____

2018年12月3日付け、貴研究所の推薦依頼に基づいて、上記の者を推薦いたします。

(所属機関・役職)

(推薦者)



<推薦理由>

※推薦者は、申請者を直接指導する方とします。また推薦理由に応募者との関係が判るように記載してください。

別紙1：研究課題キーワード

【地球惑星科学およびその関連分野】

101 地球人間圏科学関連

(1) 自然環境科学、(2) 自然災害科学、(3) 地理空間情報学、(4) 第四紀学、(5) 資源および鉱床学、(6) その他

102 固体地球科学関

(1) 固体地球物理学、(2) 地質学、(3) 地球内部物質科学、(4) 固体地球化学、(5) その他

103 地球生命科学関

(1) 生命の起源および進化学、(2) 極限生物学、(3) 生物地球化学、(4) 古環境学、(5) 古生物学、(6) その他

【土木工学およびその関連分野】

201 地震工学関連

(1) 地震工学、(2) 耐震構造、(3) 地震防災、(4) その他

202 地盤工学関連

(1) 土質力学、(2) 基礎工学、(3) 岩盤工学、(4) 土木地質、(5) 地盤の挙動、(6) 土構造物、(7) 地盤防災、(8) 地盤環境工学、(9) トンネル工学、(10) 土壌環境、(11) その他

203 水工学関連

(1) 水理学、(2) 環境水理学、(3) 水文学、(4) 河川工学、(5) 水資源工学、(6) 海岸工学、(7) 港湾工学、(8) 海洋工学、(9) その他

204 土木環境システム関連

(1) 環境計画、(2) 環境システム、(3) 環境保全、(4) 用排水システム、(5) 廃棄物、(6) 水環境、(7) 大気循環、(8) 騒音振動、(9) 環境生態、(10) 環境モニタリング、(11) その他

【社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野】

301 防災工学関連

(1)災害予測、(2)ハザードマップ、(3)建造物防災、(4)ライフライン防災、(5)地域防災計画、(6)災害リスク評価、(7)防災政策、(8)災害レジリエンス、(9)その他

【地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野】

401 地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野

(1)地球資源論、(2)資源探査、(3)資源開発、(4)資源循環、(5)資源経済、(6)エネルギーシステム、(7)環境負荷評価、(8)再生可能エネルギー、(9)資源エネルギー技術政策、(10)その他